

2005年2月4日

各位

札幌市中央区北9条西15丁目28番地196
株式会社ソフトフロント
代表取締役 村田 利文
(証券コード番号:2321)
問い合わせ先: 取締役/CFO 山本 明彦
電話番号:011-623-1001

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年11月5日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成17年3月期通期業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	760	49	23	21
今回修正予想(B)	460	220	245	295
増減額 (B-A)	300	269	268	316
増減率 (%)	39.5	-	-	-
前期実績(平成16年3月期)	744	116	69	92

2. 修正の理由

当第3四半期会計期間の売上高は、「SIP」マーケットの急速な進化に伴う当社マーケティング戦略の見直しと対応に遅れが出たこと、営業リソースの増強に時間を要していることから、平成16年8月に「2004年度版 SIP パートナープログラム」をリリースすると共に、新たな販売チャネル構築を行い、限られた営業リソースのより効率的な運用を開始したものの、それらの成果を当第3四半期会計期間にはまだ充分には盛り込むことができず、当初予想を大幅に下回る結果となっております。

当社では、現在、急速な勢いで「普及期市場」へ進化している SIP マーケットに対応するため、これまでの直販ルートに加えて、新たなマーケティング戦略の遂行による代理店ルートを活用した販売チャネルの整備拡充等を図っておりますが、これらの成果が本格的な数字として現れるのは、来期以降になると想定されることから、これらの施策が予定通りの成果を上げた場合であっても、当第3四半期会計期間までの損失分をカバーするのは、非常に難しい状況にあると認識しております。

これらの状況に鑑み、通期売上高につきましては、予想を下方修正(通期増減率 39.5%)いたします。また、各利益につきましても、経費全般に対する予算執行を厳格化することで削減に努めてまいりますが、売上高の減少分をカバーするには至らないものと想定されることから、予想を下方修正いたします。

(注)

上記の業績予想等は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

以上